



阿佐ヶ谷駅前を美しく！ 都立農芸高校生徒が駅周辺の花壇づくり

本日、都立農芸高校(今川 3 - 2 5 - 1)の生徒 18 名が、JR 阿佐ヶ谷駅周辺の花壇に、自分たちが丹精こめて育てたテランセラやマリーゴールド、ペゴニアセンパフローレンスを植えました。秋の深まりとともに色鮮やかに紅葉する花々が、道行く人を楽しませます。

都立農芸高校は、明治 33 (1900) 年に創立した都内最古の農業高校です。園芸科学科では、校内の農場で、草花や野菜の栽培技術、バイオテクノロジーなどを学んでいます。日ごろの学びを活かし、JR 阿佐ヶ谷駅周辺にある花壇(北口：10.7 m²、南口：15.7 m²)に植栽を行うようになって、今年で 13 年目になります。

今年は、2 年生の生徒 18 名(男子 12 名、女子 6 名)が参加。先生から「美しく見えるよう、配置を考えながら植えてください。」などの指導の下、テランセラ約 500 株、マリーゴールド約 300 株、ペゴニアセンパフローレンス約 200 株を、レイアウトを考えながら、1 株ずつ丁寧に植えました。午後 1 時に始まった作業は順調に進み、午後 2 時半ごろにはきれいな花壇が完成しました。



校内の農場で花を大切に育ててきた生徒は、「水やり、肥料はもちろんのこと、成長してきたら葉が重ならないように、『ずらし』と呼ばれる鉢と鉢の間をあける作業もあり、育てる間、気が抜けませんでした。」と、話していました。

秋が深まるにつれ、テランセラは葉色が赤や黄に紅葉し、阿佐ヶ谷駅前を大変美しく彩ります。この花々は晩秋まで楽しむことができます。

【問い合わせ先】
総務部広報課 TEL：3 3 1 2 - 2 1 1 1 (代表)
杉並土木事務所 TEL：3 3 1 5 - 4 1 7 8